

## 指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県県民の森
指定管理者	公益社団法人埼玉県農林公社
評価対象年度	平成31年度（令和元年度）
施設所管課	秩父農林振興センター

項目	細項目	評価	コメント
利用者の安心・安全、平等利用の確保	安全性の確保	A	日常点検をこまめに行い、指定管理者の瑕疵を問われるような事故もなく、安全性の確保に努めた。
	法令等の遵守	A	水道施設の点検等、各種法定点検を適切に実施しており、個人情報の漏えいなども認められなかった。
	平等利用の確保	A	利用日、利用時間ともに守られており、障害等による臨時休業もなかった。
施設の設置目的の達成	事業の実施	A	様々な体験事業を実施し、施設の設置目的である森林・林業に関する学習の場や森林空間での健康増進の機会を県民に提供した。
	利用状況	A	台風19号の影響でやむを得ず臨時閉園等になった期間を除き、利用人数が例年の管理目標の達成率を上回った。
	適切な管理の履行	A	日常点検をこまめに行い、また修繕を行ったときは定期報告に記載して県に報告するなど、適切に管理した。
	財産の適切な管理	A	施設の老朽化により修繕することが多くなっているが、原因究明や修繕等、適切に対応した。
	県内中小企業者、環境、障害者雇用等への配慮	A	役務・物品ともに地元企業からの調達に努めた。間伐材の利用の促進を図るなど、環境負荷の低減に努めた。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	森林学習展示館に意見箱や意見ノートを設置し、来園者の意見を管理運営の改善に役立てている。
	利用者の満足度	A	アンケート調査で「よい」と回答した人の割合は、施設利用者100%、イベント参加者92%であった。
総合評価		A	日常の点検やイベントの開催など適正に行われた。

特筆事項	特に評価すべき点	木工教室やツリーライミングなど森林・林業に関する多彩な体験事業を開催し、利用者数の増加に努めた。 冬季閉園期間においても、現場の状況に合わせて適切に管理した。
	次年度に向けて改善が望まれる点	台風19号により遊歩道等が被害を受けているため、利用の促進と利用者の安全に一段の配慮が望まれる。